

水中ドローンで橋脚等の調査を行います

～今回は潜ります！「千葉市ドローン活用推進事業」今年度第三弾！～

千葉市では、業務の効率化、ドローン関連産業の振興及び市民理解の促進を図るため、平成30年度からドローンの活用を条件とした業務発注を行っています。

今年度は水中ドローンの活用が期待されるテーマを設定して公募を行い、採択した業務を実施しますので、お知らせします。

1 公募結果

(1) 公募概要

業 務 名	水中ドローンを活用した橋梁洗堀調査
業 務 概 要	水中ドローンに搭載したカメラで水中部の橋脚や河床の状況を撮影するとともに、水深を測定する。
業務実施の背景	河川に架かる橋梁では、現状ボートから水深を測定することにより、洗堀の進行状況を確認しているが、水中の構造物の状況や洗堀されている河床の地形等の状況が正確に把握できていないことから、これらの状況について水中ドローンを活用した調査を行う。
実 施 場 所	幕張橋（花見川区幕張町） 浪花橋（花見川区浪花町）
委 託 期 間	委託契約締結の日から令和5年2月末日まで
委 託 費	1,000,000円以内（税込み）
選 定 方 法	公募型プロポーザル（企画提案）方式により選定

(2) 採択事業者

株式会社アイ・ディー・エー千葉営業所（若葉区中野町248番地）

(3) 使用機体

D i v e U n i t 3 0 0

【諸元】

- ・ サ イ ズ : 410mm×375mm×639.5mm
- ・ 潜航可能深度 : 300m
- ・ 映像品質 : Full HD (30fps)
- ・ 照 明 : LED4基 (6,000ルーメン)
- ・ 推 進 器 : 7基
- ・ 駆 動 時 間 : 4時間



2 取材について

令和4年12月14日（水）13:00～14:00に、浪花橋での水中ドローンを活用した調査の様子を公開します。

取材希望の方は、12月12日（月）17:00までに国家戦略特区推進課まで、別紙にてメール (tokku.POF@city.chiba.lg.jp) でお申し込みください。

※悪天候の場合は、12月15日（木）または16日（金）に延期します（詳細は取材申込された方にご連絡します）。

3 問い合わせ先

- (1) 業務全般及び取材申込みに関すること
総合政策局未来都市戦略部国家戦略特区推進課
電話 245-5375
- (2) 調査内容に関すること
建設局土木部土木保全課
電話 245-5478

<参考>

令和4年度千葉市ドローン活用推進事業（民間支援型） 採択事業

今年度、採択した事業は「千葉市科学館ドローン体験ウィーク」と「千葉都市モノレール車両基地点検」（令和4年10月実施済）の2つとなります。

1 千葉市科学館ドローン体験ウィーク

- (1) 実施期間
令和5年1月7日（土）～15日（日）
- (2) 採択事業者
株式会社コングレ（千葉市科学館指定管理者）
- (3) 業務内容
千葉市科学館において、ドローン関連の展示やプログラミングショーの実演、操作体験会等を行うことにより、ドローンについて学ぶ機会を創出し、社会受容性向上を目指す。

2 千葉都市モノレール車両基地点検

- (1) 実施日時
令和4年10月31日（月）
- (2) 採択事業者
提案者 千葉都市モノレール株式会社
共同提案者 株式会社トーニチコンサルタント
- (3) 業務内容
ドローンに搭載したカメラでモノレールの軌道桁・支柱を撮影し、腐食、塗膜割れを確認し、人による点検との比較を行うことで、その有効性や業務量・コスト削減効果を検証し、将来のドローンによるモノレール軌道全線への点検を検討する。